

学ぶとは「まねぶ」と読み、聞いたことを実行することです

あなたの「生きる」を支えるお寺

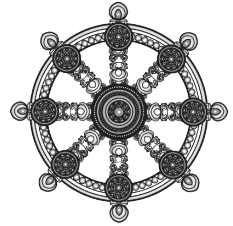
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゆんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.358



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

三月二十二日(日)

午前の部 十時から正午まで

お勤め 『仏説阿彌陀經』

午後の部 一時半から三時半まで

お勤め 『正信念仏偈和讃』

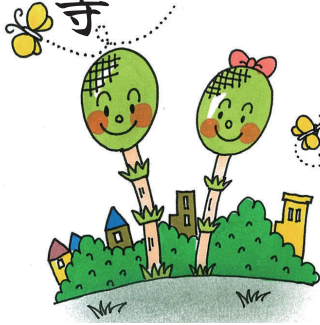
春季彼岸会

お誘い合わせて

お参りください

ご法話

甲良町池寺円徳寺



藤辺学法氏

3月25日(水) 10:00~12:00 13:30~15:30

こんき常例布教

お勤め 『正信念仏偈(十二礼節)』

ご法話 純正寺住職釋覚恵 「インド仏跡参拝記②」

住職法話 我聞如星 われかくのごとくきく

わがこころのよくて

ころさぬにはあらず ④

被害者に対しても

ノルウェーの修復的司法は、インポートモデルのよ
うな被收容者（加害者）の
人権への施策だけでなく、
犯罪被害者の人権に対しても
配慮がなされています。
例えば、殺人事件の加害
者と被害者家族が、裁判な
どの場面で直接向き合い、
家族にとって被害者がどれ
ほど大切な人であったかな
どを訴えることにより、加
害者の罪の意識が高まり、
やがて心の底から被害者家
族に対して謝罪の言葉を口
にするようになるのです。

すると、被害者家族もそ

の言葉に触れて加害者を許
す気持ちになってくるとい
うのです。この、ガルトウ
ングが提唱したトランセン
ト法による、加害者の更正
と被害者の回復が同時に成
り立つのが修復的司法なの
です。

不可欠な教誨師

日本には、千八百名余りの
教誨師が活動していますが、
ノルウェーでは五十八ヶ所
の刑務所で三十四名の教誨
師（そのほとんどがルーテ
ル教会プロテスタントの牧

師）が活動しています。

その人数は、日本に比べ
て非常に少ないですが、そ
の活動は逆に日本の教誨師
の比ではありません。日本
の教誨師は、一ヶ月から数ヶ
月に一回ほど刑務所に出向
いて活動するのが平均的で
すが、ノルウェーの教誨師
は平日五日間刑務所に常駐
して、所内には専用のオフィ
スもあります。

また、日本の教誨師は刑
務所内での所作は何一つと
して単独ではできず、トイ
レ以外は全て刑務官同伴で
すが、ノルウェーの教誨師
は自身の目を持っていて刑
務所への出入りから所内
での活動に至るまで、全て自
由に活動できるのです。

さらには、所内での被収

容者との関係も、日本では
教誨室の中だけでしか会話
できず、教誨室以外では被
收容者と挨拶を交わすこと
もありません。それに対し
て、ノルウェーでは所内を
自由に歩き回りながら、自
由かつフレンドリーに被収
容者や刑務官に声をかける
こともできます。その関係
性の中で育つのが、再犯し
ない改善更生に必要不可欠
な、被收容者と刑務官と教
誨師との相互信頼関係（ラ
ポール）です。この関係性
こそが、ノルウェーの修復
的司法による刑務所制度の
根幹をなしているのです。

すなわち、ノルウェーの
修復的司法の實踐に、教誨

師の活動は日本のそれよりもはるかに欠かすことのできない存在なのです。

社会組織の支援

ノルウェーの再犯率が、この三十年間で七〇%から二〇%まで低下した要因は、何も刑務所改革だけではありません。被收容者を積極的に支援する、社会組織の存在もまたその大きな要因です。

その一つがレッドクロス(赤十字)です。日本の赤十字とは違い、刑務所の内外で活動することにより、被收容者と社会の架け橋として機能しています。

例えば、被收容者や出所

者からアンケートを取り、被收容者にとつてのより良い社会復帰の支援をしています。また、刑務所内での被收容者との面接面談を通して、被收容者ごとの課題を明らかにして、その課題を克服する支援をしながら、出所後の安定した生活を模索しているのです。

首都オスロのレッドクロスの建物内には、たくさんの教室があり、出所者や執行猶予中の人に対して、薬物依存からの回復や職業訓練のプログラムが用意されており、義務教育的な基礎学習プログラムなどの講座も開設されています。

また、建物の一階には出所者を積極的に雇用する「プ

リズンカフェ」というバイキングレストランや「レッドバイク」という自転車修理店があり、出所者たちの居場所と経済生活基盤の両方を支援しているのです。

オスロ市内では、NGO(非政府組織)の「ウェイバックオスロ」も被收容者や出所者に対する積極的な支援を行っています。その任務は、出所者が再犯してしまふような生活環境を改善するための手助けや、薬物依存者が薬物に手を出さないように支援をすることです。スタッフは、全員が元受刑者。だからこそ、出所者と同じ目線で会話ができ、スタッフ自身がローモデルになつていけるのです。

このように、社会内にある様々な民間組織との連携があるからこそ、刑務所における修復的司法がよいよその効果を発揮するので

また、ここでも教誨師の活動が被收容者に対する、再犯に至らない社会復帰に大きな役割を果たしています。日本の教誨師は、刑務所の外で元被收容者と会うことには極めて消極的ですが、ノルウェーの教誨師は出所後も元被收容者と積極的に関係を継続し、社会復帰の支援に務められます。この、刑務所内外両方の教誨師の関わりが、より一層再犯を防ぎ、確実な社会復帰を促しています。



3月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ一、七三八、五五八個

インド・ネパールの乾季は、日本の四季にはない心地よい季節でした。今月も、七、〇〇〇個のペットボトルキャップをお預かりいたしました。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

7日(土)・28日(土)
10:00~12:00
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めをして、仏典童話を聞きながら仏教の感性を学びます。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

1日(日)・15日(日)
16:00~18:00
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。おやつタイムもあります。

みんなの食堂ビハーラ

11日(水)・25日(水)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

15日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

3日(火)・10日(火)17日(火)
10:20~11:30
年齢・性別は問いません

お香とオルゴールの音色の中のヨガ風ストレッチで、強くても柔らかな身体と心を作りましょう。

「月例法話座談会」

17日(火)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

桜の開花も「春季彼岸会」

22日(日)
10:00~12:00.13:30~15:00
年齢性別は問いません

真西に沈む太陽に、私の確かな命の行方をお浄土といただく日。法話は、藤辺 学法師です。

みんな法友こんき常例布教

25日(水) 10:00~15:30
年齢性別は問いません

所属寺の枠を超えた気楽なご法座に、お聴聞の朋友の輪が広がります。今月のご法話は、純正寺住職の「インド仏跡参拝記2」です。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。
相談予約専用電話番号は、
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。下記のQR(二次元)コードを、スマホのQRコードリーダーで読み込んでください。



YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル